

絵の具で色を作るように、
自分だけの「特別な色」を
つくっていく。

そして、世界でたった1つの
「自分の色」を思いっきり
表現していく。

いらない色なんて、
1つもない。
他の色と比べる必要もない。

ただ、自分の心が喜ぶことをするだけ

私たちは過去の悩んでいた時期に、それぞれの大切な人に自分をまるごと受け止めてもらって「自分は1人じゃない」、「自分らしく生きてもいいんだ」と感じる事が出来ました。その経験から「心から安心できる居場所をつくりたい」、「お互いを受け止め合える仲間の輪を広げたい」という2人の想いでここいろhiroshimaは誕生しました。

【お問い合わせ】

参加申し込みや活動内容のお問い合わせ、
お悩み相談、サポーター希望、講演会依頼など
お気軽にご連絡ください。

メールアドレス
cocoirohiroshima@gmail.com

LINE@



HPはこちらから

ここいろhiroshima

ここいろhiroshimaを
寄付で応援してみませんか？

ここいろの活動は、皆様からの寄付により運営しています。
ここいろが実現したい
「誰もが自分らしさを表現できる世界」を一緒に創っていきませんか？

【ご寄付のお振込先】

ゆうちょ銀行 からお振り込みの場合		ゆうちょ銀行以外 からお振り込みの場合	
記 号	15190	銀 行 名	ゆうちょ銀行
番 号	49978321	店 名	五一八(ゴイチハチ)
口座名義	ここいろhiroshima	口座番号	普通4997832
		口座名義	ココイロヒロシマ

このリーフレットは
【ひろしまの地域福祉推進“チャレンジ応援”助成事業】
を活用して制作しました。

自分の体や心の「性」について悩んでいる
子どもたちとその保護者のための
コミュニティスペース

ここいろ
hiroshima



あーん

制作者
ここいろhiroshima共同代表
當山敦己 高畑桜



さーちゃん

ここいろhiroshimaは
こんな2人で運営しています！

こころもからだもいろいろ、 彩り豊かでええじゃん！

をモットーに、性に関して悩んでいる子どもたちと
その保護者のためのサポート活動をしています！



とうやま あつき 当山 敦己 (あっきー) 1991年生まれ沖縄県出身。幼少期から自身の性別に対する違和感を持ちながらも、それがなぜなのかが分からず誰にも言えないまま高校生まで過ごす。高校2年生の時に「性同一性障害(現:性別違和)」という言葉を知り、25歳の時に戸籍上の性別を女性から男性に変更。信頼できる先輩へのカミングアウトによって、人生を変えるきっかけとなった『違いは魅力』という言葉で、今度は自分が伝える側になりたいと思い、2017年広島県に移住。LGBTQに関する活動をするなかでさーちゃんと出会い、2018年ここいろhiroshimaを共に立ち上げる。



こうはた さくら 高畑 桜 (さーちゃん) 1992年生まれ。広島県広島市出身。幼少期の頃から自分の性のあり方や家庭環境について、人との違いを感じ悩んできた。セクシュアリティは X ジェンダー・女性愛者。小学校教員になるが学校現場への違和感から、25歳でうつ・適応障害で休職する。休職中に両親へのカミングアウトを経て、本来の自分で生きようことを決意。休職中にあっきーと出会いここいろhiroshimaを立ち上げる。

居場所づくり

ここいろ会(毎月開催)

LGBTQ(かもしれない人も含む)の子どもとその保護者、きょうだい、サポーターなど幅広い年代・立場の人が参加しています。

中高生の会(不定期開催)

家族や友人関係、恋愛、進路、学校などの悩み事を、中高生だけで安心して話せたり、仲間と出逢える場です。

保護者会(年に4回開催)

LGBTQ(かもしれない人も含む)の子どもたちの保護者や、アライ(理解者・支援者)の集まりです。保護者が孤立せずに繋がれる場、病院や制度などの情報共有の場です。

参加者の声

- ◎何かあっても相談できる人がたくさんできたから、安心して生活できるようになった。(中学生)
- ◎どんな自分でも受け入れてもらえる居場所。自分を肯定できるようになりました。自分らしさを大切にしたいと思うようになりました。(高校生)
- ◎毎月ある会には、本人(当事者)と一緒に参加しています。そこで楽しそうに過ごしているのを見ると嬉しいですし、本人だけでなく保護者の不安な気持ちにも寄り添ってもらえ、何かあったら相談できるところがあるというのは心強いです。(40代 保護者)
- ◎親として悩んでいるのは自分だけではないし、悩んでいる事を負い目に感じなくていいんだと自分に優しくなりました。(40代 保護者)

啓発活動

“講演会”



講演会活動では、私たちのライフストーリーを通じて、

- ・「性の多様性」は「生の多様性」であること
- ・お互いを知ること、受け止めあうことの大切さ
- ・誰もが安心して自分らしくいられる環境づくり

などについて伝えていくことで、【誰もが自分らしさを表現できる世界】の実現を目指しています。教員、企業、保護者、行政などさまざまな方を対象に行っています。

参加者の感想

- ◎「ふつう」のものは人それぞれあっていいんだ。セクシュアルマイノリティのことだけでなく、生きていくうえで一番大切なことを学びました。(講演会参加者)
- ◎自分も「自分らしく」生きていきたい！勇気をもらえました。(講演会参加者)
- ◎「知ろうとする姿勢」が、その人を大切にすることになったと思いました。(教職員研修参加者)
- ◎どんな子でも、親が「信じる」「見守る」ことの大切さがよく分かりました。(保護者向け講演会参加者)



LINE@での相談も 受け付けています

直接ここいろ会に参加できなくても、LINE@で気軽に悩みを相談したり、ここいろの活動について知ることができます。いつでも安心して相談できるセーフティーネットとして活用してもらえ、ここいろhiroshimaをもっと身近に感じてもらえるように情報発信に取り組んでいます。

“出張授業”

出張授業では、小学生～高校生まで幅広い年代の子どもたちを対象に、発達段階に応じてゲストティーチャーとして授業を行っています。

- ・一人ひとりが宝物
- ・自分を大好きになる
- ・お互いの違うところも大切にする

など、自分自身を大切に扱うことや多様性を受け止め合う態度を育むことを大切に授業づくりに取り組んでいます。
(校内の授業づくり、カリキュラムづくりのサポートも行っています。)

参加者の感想

- ◎「人それぞれ好きな色をえらんだら安心するし、そっちのほうが楽しい。」(小学校2年生)
- ◎「あっきーとさーちゃんの話聞いて、この世界にはいろいろな人がいると分かりました。もし、自分が困ったり悩んだことがあったら、勇気を出して誰かに相談しようと思いました。」(6年生)
- ◎とにかく温かい授業で、子供たちが安心して意見を言えていたこと。「ありのままの自分っていいんだ」という子供たちの感想が多くみられたこと。年に一回の授業なのに、子供たちがあっきー、さーちゃんのことをしっかり覚えていて、とても喜んでいて。保護者の多くが肯定的な感想を寄せてくださったことが印象的でした。(小学校養護教諭)